

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年5月9日

事業所名 彩Sai Kids あさひ

保護者等数(児童数) 8人 回収数 5人 割合 62.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	5					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	5					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			1	4		公園などに散歩に行き交流をしたりすることもある。交流会など企画していく。
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	1			4		心理士などによる家族支援プログラムを実施できるかを検討しています
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4			1		送迎時などに情報共有を行うほか、保護者の皆さまと一緒にお子さんの発達や生活について考えてまいります
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			2	3		保護者同士が交流や連携できる環境を検討してまいります
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3		1	1		分かりやすい情報発信を行えるようにしていきます
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	5						
非常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	1		1		定期的に訓練を実施しています。またご不明点など、職員から説明させていただきます
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2			3		避難訓練実施した時は告知をして
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	4			1		個々に寄り添った療育や楽しめる場所になるよう心掛けています
	23 事業所の支援に満足している	5					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月9日

事業所名 彩Sai Kids あさひ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		整理整頓を行って、広さは十分と感じている	
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な人員配置を行っている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施工の際、バリアフリー化、手すりを設置	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日掃除を実施している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティング等を行い周知している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご家族のニーズにあった支援を心がけている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに記載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価の実施を検討
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修実施している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントシート活用し計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントツールを活用	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		全職員と話し合いをし、家族のニーズ等も含めながら支援内容を立案している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を全職員で把握し、話し合いをしながら支援を含めている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全職員で利用者様に合った課題を立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々違ったプログラムになるように努めている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		多職種と連携を取りながら計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		1日療育リーダーを中心にやっている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		専用のノートに記載するなど対応している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録など共有している	
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		適時支援計画を変更している	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者や専門職が対応	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		発達支援センターと連携している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		相談員と連携している	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		緊急時対応を作成し対応できるようにしている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		お迎え時に情報交換している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時に申し送りを行い、情報共有をしている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		担当者会議に定期的に参加している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		子どもと接する機会を設けられるよう検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		積極的に参加していくよう、検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に情報の共有している	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			相談されたことを専門職員から回答できるようにしている
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご利用時に説明し不明点などは管理者に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ご利用時に説明し不明点などは管理者に説明している	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		専門職から回答するようにしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者同士の連携がとれる機会が設けられるか、今後検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		専門職から回答するようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		SNSなどで発信しているが、いい方法を考えている
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き倉庫などに保管している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別支援計画を立案し、支援して	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		情報発信を様々な観点からいけるよう今後整備していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアル作成している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		法定通りで実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に記載お願いしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーある場合は持参お願いしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		インシデント作成し共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修をしている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束等がある場合は、事前に保護者と話し合いをし了承を得て記載するようにしている	

○の「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。